

第64期に関するご報告

2021年3月1日～2022年2月28日

High Quality & Low Price



SUPER REPORT

長期ビジョン「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」
中期経営計画「2125計画」スタートの年



Contents

●事業のご報告	1	●第64期トピックス [店舗開発]	5
●長期ビジョンと中期経営計画	3	●第64期トピックス [ESGへの取り組み]	7
●ビジネスモデル	4	●財務諸表	9



証券コード: 2742

事業のご報告

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社「第64期に関するご報告」をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2022年5月

代表取締役社長 **佐藤 利行**



当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による経済活動の制限に加え、海外情勢の急激な変化による原材料価格の高騰及びウクライナ情勢の緊迫等により、先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

小売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響から生活者の購買行動が変化し、業種別の格差が業績に表れました。また、企業収益の減少に伴う雇用・所得環境の悪化及び原油価格や原材料価格の上昇により、日常の買物での生活防衛意識はさらに強まり、低価格志向が続きました。なお、

スーパーマーケット業界では、引き続き、食料品を中心とした在宅用消費増加の傾向が見られました。

このような状況の中で当社は、以下の主要な取り組みを行いました。

- ①商品面 重点販売商品の育成及び適切な品質かつ低価格を基本コンセプトとしたプライベートブランド商品のシェアアップを継続して実施
- ②販売促進面 生活防衛企画及び自社会員カード（ハロカ）のポイント優遇施策
- ③店舗運営面 全店24時間営業を継続、3店舗の大改装、セルフレジ設置の推進、新型コロナウイルス感染症対策を継続して実施
- ④店舗開発面 6店舗の新規出店
- ⑤社会貢献面 フードバンク事業運営団体への商品提供及び自社エコセンターによる資源の再利用、新たに2つの自治体と災害協定を締結
- ⑥経営面 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行
- ⑦組織面 組織変更（SV統括室の設置、店舗運営ライン本部内の地区の再編）

社 訓

和して向上 日々感謝

経営理念

- 一、地域社会の生活文化向上に貢献する
- 一、従業員の幸せづくり人づくりをする
- 一、お取引先様との共存共栄をはかる
- 一、成長発展のため利益を確保する



以上の結果、当事業年度の営業収益は1,633億74百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は86億88百万円(前年同期比14.3%増)、経常利益は87億13百万円(前年同期比14.9%増)、当期純利益は59億32百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

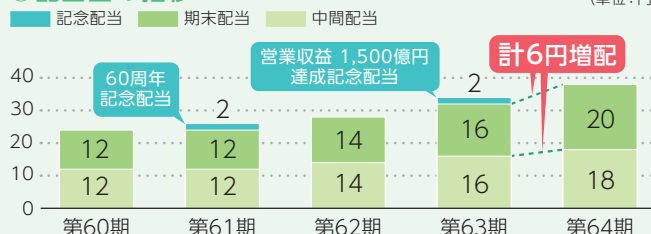
営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。また、当社は商品小売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は記載しておりません。なお、2022年2月に当社は東京証券取引所市場第一部の貸借銘柄に選定されております。

当事業年度の配当金につきましては、中間配当として普通配当1株当たり18円(2円増配)、期末配当として普通配当1株当たり20円(4円増配)を実施いたしました。これにより年間配当金は1株当たり38円(6円増配)となります。なお、前事業年度は、期末配当として「営業収益1,500億円達成記念配当」1株当たり2円を実施しております。

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による影響は引き続き継続するなか、実質賃金の低下等により、消費マインドの冷え込み懸念など、生活防衛意識による

○配当金の推移

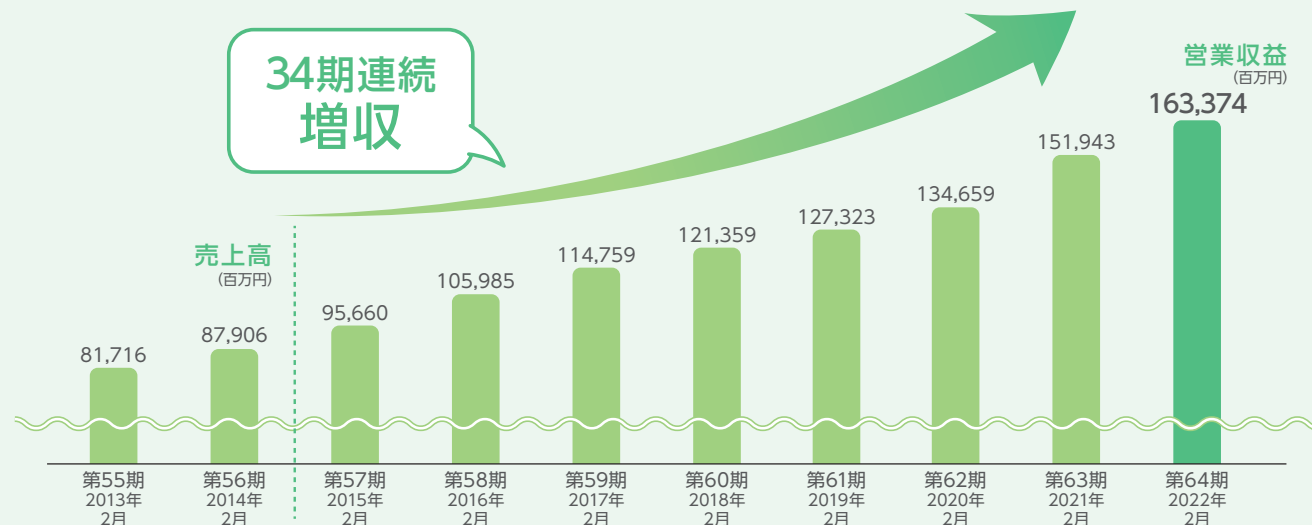
(単位:円)



慎重な購買活動及び低価格志向が続くものと見込まれます。加えて、人口の減少、年齢構成及びライフスタイルの変化などが続き、これらへの対応及びオーバーストアの競争環境激化への対応が迫られております。

このような環境の中、変化・競争に柔軟に対応しつつ、新規出店及び既存店の改装を積極的に行い、お客様満足度の高い店舗により商勢圏内での優位性確立を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



※ 第57期より、不動産賃貸収入等の「営業収入」を含め「営業収益」として表示する方法に変更いたしました。

長期ビジョンと中期経営計画



長期ビジョン

瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想 中期経営計画「2125計画」

瀬戸内沿岸部に設定した商勢圏内(中国・四国・近畿の6県下)に、180店の店舗展開を行い営業収益3000億円を目指しております。

中期経営計画として「2125計画」をスタートさせ、初年度は計画を上回る営業収益で好スタートとなりました。

今後も「地域一番お客様貢献店づくり」を推進し、お客様の生活スタイルに対応した「より良い商品」を「低価格」で提供していきます。

中期経営計画 2125計画

長期ビジョン 瀬戸内商勢圏180店舗 3000億円構想



2125計画とは？
2025年度迄に
120店舗体制で
2000億円を達成！

詳細は下記の
ウェブサイトより
ご確認ください。



<https://www.halows.com/ir/vision/>

食をプロデュースするハローズへ進化

お客様に日々ご利用いただけるハローズを目指し、低価格、品揃え、サービス機能の強化により「地域一番お客様貢献店づくり」を推進していきます。

また、従業員が生き活きと夢や目標に向かって活躍できるハローズを目指し、人事制度、オペレーション、店舗施設などを再構築し、「元気になる会社づくり」をはかっていきます。

更にビジネスモデルの強化で成長するハローズを目指し、坂出ロジスティクスセンター新設による物流拠点網の拡大と効率的な物流体制などを展開し、「生産性の高い会社づくり」を行っていきます。

ビジネスモデル



ビジネスモデルの概要

顧客ニーズ	ハローズ	コロナに対応
いつでも買物ができる 24時間営業	ビジネス モデル 1 24時間オペレーション 店舗運営+物流+情報の各システム	自分の生活スタイルに合わせて いつでも買物ができる24時間営業
365日食生活の提案 豊富な店揃え	ビジネス モデル 2 600坪型店舗のNSC 業態の良さ+Pプライス+ショートタイムS	高い天井・広い通路で3密にならない 短時間で買物ができる
より良い商品を お値打ち価格で	ビジネス モデル 3 製造・物流・販売の一括管理 SCM(サプライチェーンマネジメント)	低価格販売で 生活者のくらしを守る
With・コロナに対応したビジネスモデルである		
NSC：近隣購買型ショッピングセンター Pプライス：ポピュラープライス ショートタイムS：ショートタイムショッピング		

ビジネス モデル 1 24時間オペレーション

いつでも買物ができる24時間営業

自分の生活スタイルに合わせて、混雑していない時間を選んで買物をすることができるため、密集を緩和できます。

様々なお客様のニーズに24時間応えるため

昼

- ・商品加工
- ・レジ業務
- ・接客対応

24h

- ・商品陳列
- ・店内清掃
- ・防犯体制

夜

24時間営業：作業の平準化による効率的なオペレーション

[24時間バックアップ]
店舗に合わせた物流体制

[24時間フォローアップ]
本部・センター情報提供

24時間サポート

店舗オペレーションを中心としたビジネスモデル

ビジネス モデル 2 600坪型店舗のNSC

P6で特集

600坪型標準店舗

高い天井、広い通路で3密になりにくい
店内空間で買物ができます。

NSC(近隣購買型ショッピングセンター)

購買頻度の高い商品を扱う店舗を誘致
してNSCを形成することで、ショートタイムショッピングができます。



ビジネス モデル 3 製造・物流・販売の一括管理

より良い商品をより安く

自社物流及び本部機能を中心に、調達～販売までをコントロールすることで、品質・品揃えの向上、商品原価の低減を進めてまいります。

ハローズセレクション

当社プライベート・ブランド(PB)商品「ハローズセレクション」は安全・安心・健康がコンセプトです。

国内外を問わず世界のベストソースから調達・開発を行い、適切な品質とお値打ち価格でお客様にお届けしてまいります。



PB総品目数

790品目

売上高構成比

11.4%

2022年2月28日
現在

トピックス [店舗開発]

第64期の新規出店と改装状況 第64期は広島県3店舗、岡山県2店舗、兵庫県1店舗の新規出店を行いました。

既存商勢圏のドミナント化を中心に600坪型24時間営業の6店舗の新規出店により、店舗数は広島県31店舗、岡山県27店舗、香川県12店舗、愛媛県8店舗、徳島県9店舗及び兵庫県10店舗の合計97店舗となりました。

また、既存店3店舗に対して、「地域密着及び簡便性商品等の充実を目的とした品揃え・レイアウト変更」と「省エネ対応をふまえた店内設備の改修工事」等の改装を行いました。

新規開店店舗





改装店舗

ハローズ駅家モール店 (広島県福山市)



2021年6月25日リニューアルオープン

ハローズ総社店 (岡山県総社市)



2021年7月16日リニューアルオープン

ハローズ新倉敷店 (岡山県倉敷市)



2022年1月28日リニューアルオープン

特集 ビジネスモデル NSC (近隣購買型ショッピングセンター) の紹介

■ ハローズ熊野モールNSC



NSCとは、日常的な生活や買物をワンストップショッピングできるように店舗がレイアウトされた近隣購買型ショッピングセンターのことです。生活に密着した業種・店舗を誘致してNSCを形成することで、ショートタイムショッピングができる環境をつくり、お客様への利便性を高め、魅力あるお買い物エリアを展開しております。

ハローズ熊野店 店長インタビュー



ハローズ熊野店 店長
まるやま たかのり
丸山 孝紀

Q:熊野店の紹介をお願いします。

ハローズ熊野店がある広島県安芸郡熊野町は、広島県西部に位置し、全国シェア8割の熊野筆が有名で、広島市と呉市のベッドタウンとして開発が進んでいるエリアです。店舗は県道34号線を主道路とし黒瀬方面、矢野方面より、また呉方面からも交通の便の良い場所に位置しています。同ショッピングセンターは、年中無休・24時間営業のハローズ熊野店のほか、ウォンツ様、セリア様、しまむら様、タイム様、MBフレンド歯科様、小柴クリーニング様と多くの共同出店者様と、お客様のご来店をお待ちしております。

Q:お客様へメッセージをお願いします。

ハローズ熊野店は、お客様が快適にお買い物をしていただけるよう、お買い得な商品を豊富に品揃えし、真心を込めた接客サービスに取り組んでいきます。ショッピングセンターとして駐車台数300台以上を確保し「熊野町になくはないお店」をコンセプトに、地域社会に貢献できるよう従業員一丸となって取り組んでいきます。今後共どうぞ宜しくお願いいたします。

トピックス [ESGへの取り組み]

近年、企業が環境保全及び社会貢献を考慮した経営に取り組むESGに取り組んでまいります。

～持続可能な社会のために～ Environment

持続可能な社会の発展のために、当社では店舗・事務所内の省エネや廃棄物の削減・リサイクルに取り組んでいます。お客様に安心してお買物をしていただけるよう環境保全活動に継続して取り組んでまいります。

店頭リサイクル活動

ハローズではサステナビリティ方針に則ったCSR活動の一環として店頭で資源回収を行っています。牛乳パックや缶類(スチール・アルミ)、ペットボトル、食品トレーの回収を行っております。



店頭リサイクルステーション

牛乳パックは、製紙メーカー様に再生紙の原料としてご使用いただき、出来上がった再生紙のティッシュペーパーをハローズにて販売しております。

エコセンター(リサイクル事業)

設立の目的: リサイクル事業による循環型社会への貢献

取り組み内容: 地域雇用の創出及び障がい者の自立支援
: 地域社会貢献のための教育訓練施設として「場」を提供

主 業 務: 店舗・物流センターから発生する資源を配送の帰り便で回収。エコセンターにて圧縮または減容処理を行い、資源のリサイクル活動を行う。

直近のリサイクル実績(2021年3月～2022年2月)

品 目	出荷実績		リサイクル
	年間実績	月平均	
ダンボール	9,673 t	806 t	製紙原料
牛乳パック	182 t	15 t	ティッシュペーパー
スチール缶	142 t	12 t	溶かして原料化
アルミ缶	486 t	40 t	溶かして原料化
ペットボトル	939 t	78 t	繊維・シート・成形品
食品トレー	123 t	10 t	エコトレイ
発泡スチロール	158 t	13 t	プラスチック原料
合 計	11,703 t	975 t	

フードバンクの新しい形「ハローズモデル」

ハローズでは、食を通して好循環型社会の実現を目指しています。

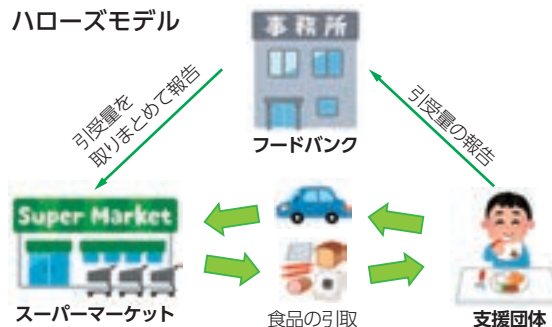
また、持続可能な社会の実現のため、食品ロス削減の取り組みを行っています。

ハローズが開発・提唱した「支援を受ける団体が近隣の店舗で直接引き取る」フードバンクの新しいかたち「ハローズモデル」によって、これまで消費期限が短く提供が困難だった乳製品や日配品などの提供が可能となりました。これにより従来型のフードバンクの10倍の商品提供が可能になりました。

ハローズモデルによって提供可能になった食品

- 野菜 ●果物 ●精肉加工物(ハム・ソーセージ) ●乳製品 ●日配品
- 加工食品 ●アイスクリーム ●冷凍食品 ●惣菜 ●菓子

ハローズモデル



フードバンクが支援している子ども食堂等の生活支援団体が、近隣のスーパーへ直接引取に向かう

ことに期待が高まっております。ハローズはサステナビリティ方針に則り、



～社会への貢献～ Social

当事業活動はお客様や地域社会に支えられております。
食に関する支援活動や食育活動、また災害時の支援協定等を通じ社会への貢献に努めてまいります。

公益財団法人ハローズ財団

株式会社ハローズの創業家は、「食を通じて社会へ貢献」できる人財育成に寄与したいという目的から、2012年10月9日に一般財団法人ハローズ財団（現公益財団法人ハローズ財団）を設立いたしました。

設立精神

- 一、食を通じて地域社会へ貢献
- 一、地域社会に貢献できる有用な人材の育成
- 一、食育に対する学術・教育・研究を行う団体への助成により、地域社会の健全な食生活の実現・健康確保

また、ハローズは、公益財団法人ハローズ財団の設立精神に賛同し、当財団を通じて、「高校生・短期大学生及び大学生への奨学金給付事業」の支援に取り組んでおります。2021年からは「食育活動及び研究に取り組む団体への助成金事業」の支援を新たに始めました。

岡山県立大学共同開発「栄養バランス弁当」

岡山県立大学保健福祉学部栄養学科の監修により共同開発した、カロリー・栄養バランスに配慮したハローズのオリジナル弁当です。2021年9月13日に販売をスタートした第9弾目は、600kcal台の（幸：さち）、500kcal台の（陽：ひなた）、400kcal台の（福：ふく）の3種類。第1弾販売開始からの累計販売数は約360万食と、今やハローズの顔となっています。



600kcal 台の幸（さち）



500kcal 台の陽（ひなた）



400kcal 台の福（ふく）

災害時協定の締結

2021年4月に広島県安芸郡熊野町、12月に兵庫県西脇市と災害に関する協定を締結しました。2022年5月現在、6県19団体と同様の支援協定を締結しています。

～コーポレート・ガバナンス～ Governance

当社は、良き企業市民として社会に貢献するため、コーポレート・ガバナンスの充実を経営上の重要課題と考えております。企業経営の透明性、公正性を高め、株主その他のステークホルダーの皆様のために企業価値の向上を進めてまいります。

コーポレート・ガバナンスの概要

組織形態	監査等委員会設置会社
取締役会議長	代表取締役社長
取締役人数	14名
監査等委員人数	5名
指名報酬委員人数	5名

当社は、企業統治の体制として、2021年5月27日をもって監査等委員会設置会社に移行いたしました。会社法制は勿論のこと、各種法令・ルール・社会規範を遵守し、透明でかつ公正な事業の遂行をすることにより、企業の安定性確保や社会環境に適合するなど企業の社会的責任（CSR）を広く果たし、お客様や地域社会に貢献することができる企業を目指して経営を行ってまいります。

財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

	第64期 2022年2月28日現在	第63期 2021年2月28日現在
資産の部		
流動資産	19,627	27,866
現金及び預金	13,396	21,568
その他	6,236	6,302
貸倒引当金	△ 4	△ 3
固定資産	67,638	62,978
有形固定資産	56,500	51,795
無形固定資産	301	389
投資その他の資産	10,836	10,794
資産合計	87,266	90,845
負債の部		
流動負債	21,109	27,779
買掛金	8,615	14,868
一年内返済予定の長期借入金	3,289	3,622
リース債務	520	612
未払金	1,563	2,077
未払費用	1,297	1,403
未払法人税等	1,910	1,663
その他	3,911	3,532
固定負債	16,756	18,849
長期借入金	9,431	11,718
リース債務	847	935
退職給付引当金	748	704
資産除去債務	1,497	1,408
預り建設協力金	991	953
長期預り敷金保証金	2,029	1,872
長期前受収益	902	928
その他	308	328
負債合計	37,865	46,628
純資産の部		
株主資本	49,278	44,086
資本金	5,430	5,430
資本剰余金	5,379	5,374
利益剰余金	38,579	33,415
自己株式	△ 111	△ 133
評価・換算差額等	0	0
その他有価証券評価差額金	0	0
新株予約権	121	129
純資産合計	49,400	44,217
負債・純資産合計	87,266	90,845

(注) 各諸表の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

	第64期 2021年3月 1 日から 2022年2月28日まで	第63期 2020年3月 1 日から 2021年2月28日まで
売上高	159,147	148,257
売上原価	118,978	110,587
売上総利益	40,168	37,670
営業収入	4,226	3,685
営業総利益	44,395	41,355
販売費及び一般管理費	35,706	33,751
営業利益	8,688	7,604
営業外収益	135	134
営業外費用	110	155
経常利益	8,713	7,582
特別利益	2	169
特別損失	10	63
税引前当期純利益	8,705	7,689
法人税等	2,772	2,190
当期純利益	5,932	5,498

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第64期 2021年3月 1 日から 2022年2月28日まで	第63期 2020年3月 1 日から 2021年2月28日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,280	11,589
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 7,819	△ 7,560
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 4,047	4,684
現金及び現金同等物 に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物 の増減額(△減少額)	△ 8,586	8,713
現金及び現金同等物 の期首残高	23,249	14,535
現金及び現金同等物 の期末残高	14,663	23,249



株主資本等変動計算書

当事業年度(2021年3月1日から2022年2月28日まで)

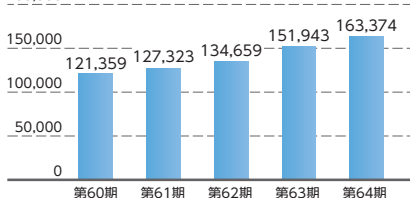
(単位:百万円)

	株 主 資 本											評価・換算差額等		新 株 予約権	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計			
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		その他利益剰余金 圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金					利益 剰余金 合計		
当期首残高	5,430	5,373	0	5,374	16	215	22,722	10,461	33,415	△133	44,086	0	0	129	44,217
当期変動額															
剰余金の配当								△768	△768		△768				△768
当期純利益								5,932	5,932		5,932				5,932
圧縮積立金の取崩							△15	15	—		—				—
別途積立金の積立								3,800	△3,800		—				—
自己株式の処分			5	5						21	27				27
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）												△0	△0	△8	△8
当期変動額合計	—	—	5	5	—	△15	3,800	1,379	5,163	21	5,191	△0	△0	△8	5,183
当期末残高	5,430	5,373	6	5,379	16	199	26,522	11,841	38,579	△111	49,278	0	0	121	49,400

ハローズの業績推移

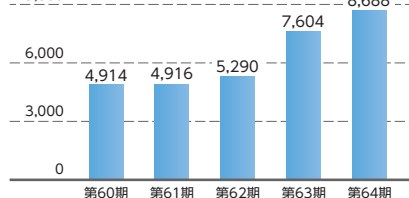
営業収益*

(百万円)



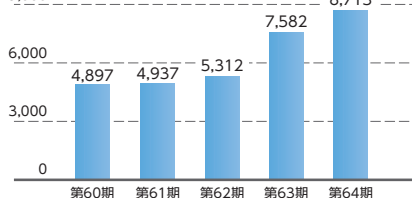
営業利益

(百万円)



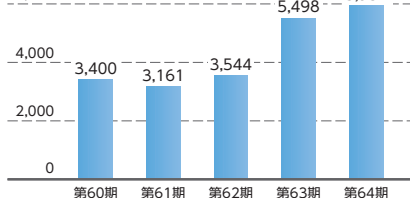
経常利益

(百万円)



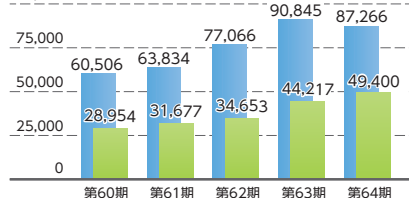
当期純利益

(百万円)



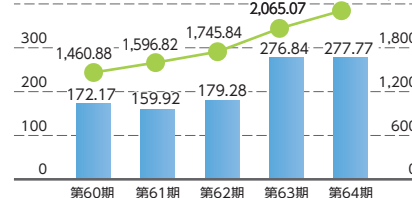
総資産／純資産

(百万円)



1株当たり当期純利益／1株当たり純資産

(円)



*売上高に営業収入を加算し、営業収益としております。

会社情報



会社概要 (2022年2月28日現在)

会社設立	1958年10月14日
会社名	株式会社ハローズ
資本金	54億3,063万円
本社	広島県福山市南蔵王町六丁目26番7号 (同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。)
本部	岡山県都窪郡早島町早島3270番地1 電話番号:086-483-1011(代表)
従業員数	1,233名
事業内容	食品スーパーマーケット業(食料品、日用雑貨品等の販売)
店舗数	97店舗 (広島県31店舗、岡山県27店舗、香川県12店舗、 愛媛県8店舗、徳島県9店舗、兵庫県10店舗)

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当基準日	中間 毎年8月末日 期末 毎年2月末日
株主名簿管理人・ 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(通話料無料) ○株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開 設されている証券会社等にお問合せください。 ○特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては は、三菱UFJ信託銀行(口座管理機関)の上記電話及びインター ネットでも24時間承っております。 https://www.tr.mufj.jp/daikou/
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
単元株式数	100株
公告掲載方法	電子公告 公告掲載URL https://www.halows.com/ ○やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経 済新聞に公告いたします。

役員 (2022年5月26日現在)

代表取締役社長	佐藤 利太	行志典
取締役副社長	佐藤 秀正	名司子
専務取締役	花岡 正憲	美二
専務取締役	橋本 光登	則明
常務取締役	塩田 健義	千俊
取締役	小田 和	二正
取締役(社外)	砂井 均	邦和
取締役(社外)	池田 邦和	
常勤監査等委員	小尾 崎本	
常勤監査等委員(社外)	岡本 福林	
監査等委員(社外)	稲小 正	
監査等委員(社外)		
監査等委員(社外)		

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。また、株主の皆様への感謝を込めて、株主優待制度を設けております。

所有株式数	株主ご優待券
100株以上	1,000円相当(500円優待券2枚)
500株以上	5,000円相当(500円優待券10枚)
1,000株以上	10,000円相当(500円優待券20枚)
利用方法	

- ・当社の店舗にて、1,000円以上のお買物につき、1,000円ごとに1枚利用できます。
- ・有効期限 発行された翌年の5月末日まで

進呈時期

- 毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録されている100株以上ご所有の株主様に対し、年1回5月末頃発送の予定をしております。
- なお、当社店舗所在の市町村及び隣接する市町村以外に在住の株主様につきましては、上記基準による株主ご優待券にかえて「QUOカード」を進呈いたします。



High Quality & Low Price



ハローズ ホームページのご案内 <https://www.halows.com/>
ハローズ財団 ホームページのご案内 <https://www.halowszaidan.or.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。 環境にやさしい植物油インキにて印刷しています。